

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理番号	対象作物	使途名	目標	前年度(実績)	目標値(令和5年度)
1	飼料用米(玄米・SGS)、WCS用稲	新規需要米生産量確保支援	作付面積	154.28ha	170.00ha
			飼料用米(玄米)	72.64ha	75.00ha
			飼料用米(SGS)	65.80ha	75.00ha
			WCS用稲	15.84ha	20.00ha
			供給量	1,268.1t	1,570.0t
			飼料用米(玄米)	478.6t	495.0t
			飼料用米(SGS)	564.7t	675.0t
			WCS用稲	224.8t	400.0t
			収穫量(単収10a当たり)	—	—
			飼料用米(玄米)	658.8kg	660.0kg
飼料用米(SGS)	858.2kg	900.0kg			
WCS用稲	1,419.1kg	2,000.0kg			
2	加工用米	加工用米取組推進助成	作付面積	80.6t	90.0ha
			供給量	432.3t	513.0t
			収穫量(単収10a当たり)	536.1kg	570.0kg
3	飼料用米(玄米・SGS)	複数年契約助成	複数年契約面積	94.3ha	95.67ha (令和4年度)
			複数年契約数量	645.6t	503.0t
			作付面積	138.4ha	125.0ha
			出荷数量	1,007.5t	960.0t
4	重点振興野菜(きゅうり・米なす・トマト・ミニトマト・ビーツ)	高収益作物生産助成(重点振興野菜)	作付面積	1.91ha	2.50ha
5	振興野菜(アスパラ・かぼちゃ・ねぎ)	高収益作物生産助成(振興野菜)	作付面積	10.33ha	12.00ha
6	奨励野菜(スイートコーン・春菊・オクラ・メロン・ほうれん草)、花き	高収益作物生産助成(奨励野菜)	作付面積	0.55ha	2.50ha
7	そば	そば作付助成	作付面積	89.0ha	92.0ha
8	小麦、大豆、そば	収益力向上支援	取組面積		
			小麦	13.9ha	25.0ha
			大豆	42.8ha	60.0ha
			そば	71.4ha	81.0ha
			収穫量(単収10a当たり)		
			小麦	392kg	300kg
			大豆	157kg	270kg
			そば	67.1kg	67.5kg
実施率					
小麦	100.00%	90.00%			
大豆	83.10%	90.00%			
そば	80.27%	88.00%			
9	飼料用米(区分管理に限る)・WCS用稲・小麦・大豆・飼料作物・そば	コスト低減支援	対象作物作付面積	375.0ha	432.0ha
			団地化面積	272.8ha	280.0ha
			団地化比率	72.7%	64.8%

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

7 産地交付金の活用方法の概要

都道府県名:北海道

協議会名:愛別町農業再生協議会

新様式(公表用)

整理番号	用途 ※1	作期等 ※2	単価 (円/10a)	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	新規需要米生産量確保支援	1	19,000	飼料用米(玄米・SGS)、WCS用稲	生産性向上の取組(直播栽培、無代かき移植、農業の苗箱播種同時処理等)、作業委託、機械・施設の共同利用等
2	加工用米取組推進助成	1	1,000	加工用米	温湯種子消毒、効率的な施肥、効率的な農業処理、農業用機械の共同利用、ケイ酸資材の施用、稲わらの搬出等
3	複数年契約助成	1	6,000	飼料用米(玄米・SGS)	複数年契約、生産性向上の取組、作業委託等
4	高収益作物生産助成(重点振興野菜)	1	40,000	重点振興野菜(きゅうり・米なす・トマト・ミニトマト・ピーツ)	対象作物の作付
5	高収益作物生産助成(振興野菜)	1	35,000	振興野菜(アスパラ・かぼちゃ・ねぎ)	対象作物の作付
6	高収益作物生産助成(奨励野菜)	1	30,000	奨励野菜(スイートコーン・春菊・オクラ・メロン・ほうれん草)、花き、果樹	対象作物の作付
7	そば作付助成	1	20,000	そば	対象作物の作付
8	収益力向上支援	1	5,000	小麦、大豆、そば	土壌診断に基づく土づくり、排水対策、効率的な播種、田畑輪換等
9	コスト低減支援	1	1,000	飼料用米(区分管理に限る)、WCS用稲、小麦、大豆、飼料作物、そば	ほ場の団地化、ICT技術の活用、効率的な播種等

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする用途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は用途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。

ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができます。

なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。

※2 「作期等」は、基幹作を対象とする用途は「1」、二毛作を対象とする用途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする用途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする用途は「4」と記入してください。

※3 産地交付金の活用方法の明細(個票)の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。

※4 産地交付金の活用方法の明細(個票)の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。